



男女共同参画

# 男女共同参画の意

町では、「男女共同参画基本計画」（計画期間平成21～30年度）を策定してから5年を経過していることなどを踏まえ、まとめましたので、一部をお知らせします。詳しくは、町ホームページ(<http://www.town.yokoshibahikari.chiba.jp>)

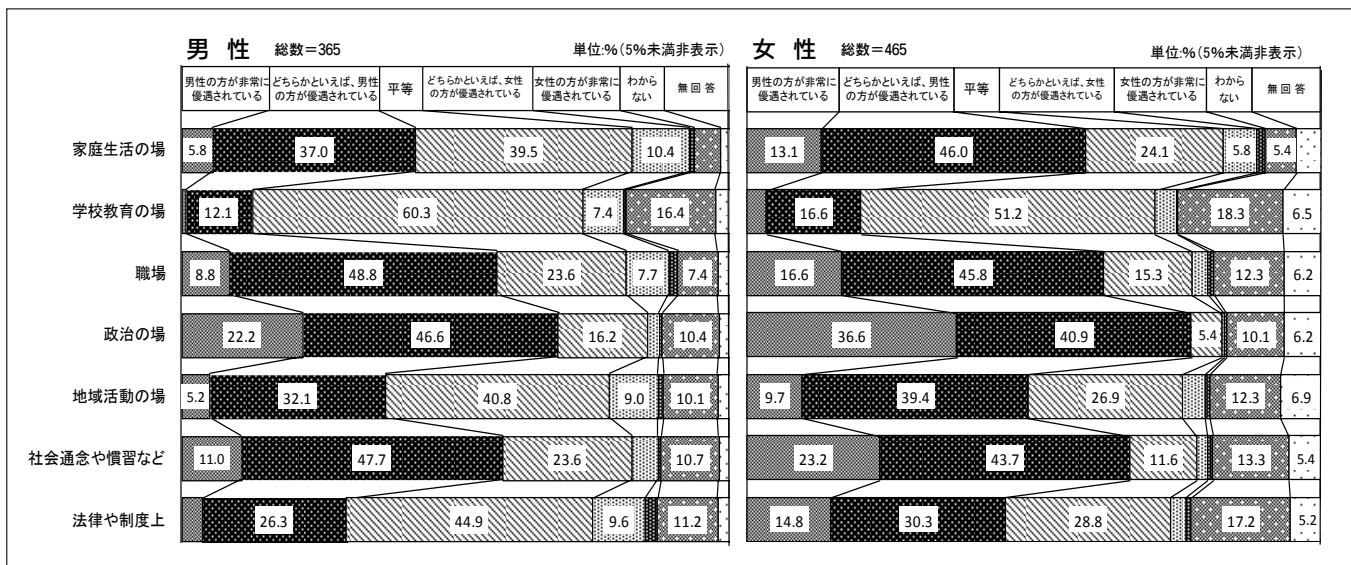
- 調査対象 町内在住の16歳以上の男女2,000人
- 抽出方法 単純無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布と回収
- 調査期間 平成26年10月1日～27日
- 有効回収数 883件
- 有効回収率 44.2%
- 調査項目 ①男女の平等感について  
②家庭生活や地域活動について  
③職場について  
④女性に対する暴力について  
⑤男女共同参画社会実現のために必要なことについて

## ①男女の平等感

### ◇学校教育は男女平等、職場、政治の場、社会通念や慣習は男性優遇

家庭生活や学校教育などの7つの分野のうち、男女の平等感は、「学校教育の場」は半数以上が平等と回答していますが、「職場」、「政治の場」、「社会通念や慣習」は「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計した割合が高く、男性優遇の分野と考えられ、平成18年の前回調査とあまり変わりません。

家庭生活での平等感、前回調査に比べると平等の回答が増え、若い世代を中心に平等感が高まっていますが、女性の平等感、男性よりも低く、男女間のギャップが家庭生活に限らず、いずれの項目でも見られます。



## ②男性が女性とともに家事や介護などに参加するために必要なこと

### ◇夫婦や家族間でのコミュニケーションが最も必要

男性が、女性とともに家庭や地域活動などに積極的に参加するために必要なことは、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくする」が最も高い割合となっています。また、「家事参加に対する男性自身の抵抗感をなくす」、「社会のなかで男性による家事等の評価を高める」、「休暇制度等で仕事以外の時間を持つ」などがあげられており、各項目とも前回調査と変わらず回答率もほぼ同じとなっています。

